熊本県県北エリアの魅力を発信

がんばろう！熊本　荒尾･玉名、山鹿、菊池は、元気です

4月に発生した「平成28年熊本地震」からの復旧、復興を願い、熊本県では、観光での地域活性化を図るため、復興支援として、大型キャンペーン展開や、「九州ふっこう割」を適用した旅行商品が販売されている。熊本県の県北エリア内には、直接の地震の被害を受けていない観光地も多い。熊本県県北広域本部では、県北エリアへの観光客の送客や旅行商品造成をアピールしている。

荒尾・玉名エリア

世界遺産三池炭鉱万田坑

「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、日本国内の8県11市にまたがる重工業（製鉄・製鋼、造船、石炭産業）に関する産業遺産で構成されている。熊本県県北には、三池炭鉱万田坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡（熊本県荒尾市・福岡県大牟田市）がある。

万田坑は敷地が広く大きな遺構が残っているのが特徴。存在感のある第二竪坑の鋼鉄製櫓と、煉瓦造の巻揚室、汽罐場のレンガ塀や煙突跡の内部を見ることができる。1998年国重要文化財、2000年国史跡に指定。映画やテレビドラマロケ地としても知られる。スマートフォンによるガイドや記念撮影ポイントが設置されている。定時ガイドがあり、1日6回実施。（地図A）

三池炭鉱万田坑

うろんころん高瀬　あきないめぐり

江戸時代、米の集積地として栄えた玉名・高瀬地区。古い街並みにある商店を訪れ、玉名の歴史や文化を紹介するツアー。

高瀬蔵をスタートして、商店街の店を各店舗の店主がリレー形式で案内する。高瀬蔵は明治初期の町家建築とされる蔵を多目的ホールと飲食施設として改修された施設。

高瀬飴を製造販売する田尻高瀬飴本舗、玉名ブランド認定品「高瀬のみどり」が試飲できる柳屋茶舗、様々な「飲む酢」を試飲できる荒木直平商店など7店舗を巡る。前日までの予約が必要。

申込先は一般社団法人玉名観光協会（玉名市両迫間308）。（地図C）

うろんころん高瀬　あきないめぐり

江田船山古墳公園と肥後民家村

公園内には、国指定史跡の江田船山古墳をはじめ、出土品（国宝・レプリカ）を展示した歴史民俗資料館がある。江田船山古墳の出土品約92件は国宝として東京国立博物館に保管・展示されている。一本の太刀の峯に銀で象嵌された75文字の漢字は日本最古のものとされ、日本の古代史研究の中で貴重なものとされている。

肥後民家村は、県内外から古民家を移築復元。村内には、文政13年3月（1830年）に建てられた旧境家住宅（国指定重要文化財）やおよそ300年前に建てられた新潟県上越市の旧布施家住宅（町指定重要文化財）、対馬の石屋根造りの家など6棟の古民家がある。

宿泊体験やガラス、木工、蕎麦打ちなどの創作体験もできるほか、カフェを経営する施設もある。

宿泊体験施設は旧河野家又は旧山野家を利用（1棟15人定員）。

キャンプ場コテージの古民家版で、自炊が基本。五右衛門風呂、かまど体験などもできる。利用時間は15時から翌朝10時まで。申し込み窓口は、菊水ロマン館。梅雨時期（6月中旬～7月中旬）は利用できない。

住所は玉名郡和水町江田3022。営業時間は9時～17時（入村は16時30分まで）。

休村日は毎週月曜、12月26日～12月31日（ただし月曜が祝日の場合は翌日。村内施設毎に休館日が異なる）。（地図D）

肥後民家村

江田船山古墳

日本刀作刀見学

世界に誇れる日本文化体験プログラム「日本刀作刀見学」

日本伝統の日本刀製作と古武道の演武を間近に見学できるプログラム。

「ニホントウ」として、世界的に知名度が高い日本古来の伝統技術である刀剣の作刀風景を見学できる。文化庁から刀匠の認証を受ける松永源六郎氏の技術は芸術の域に達しており、駐日米国大使ら外国人の見学者も多数訪れている。松永日本刀剣鍛錬所の横には、古武道の道場があり、日本刀を使った古武道の演武も見学できる。

日本刀は、日本の伝統工芸品として販売されており、松永日本刀剣鍛錬所でも購入ができる。外国人への販売も可能。

同プログラムは世界が知らない日本の「ふるさと名物」を、地域が主体となって世界へ発信するWEBサイト「NIPPON QUEST（ニッポンクエスト）」の年間グランプリの「第1回NIPPON QUEST AWARD」アクティビティ部門グランプリを受賞。

見学には10日前の予約が必要。

住所は荒尾市川登1907―80。（地図B）

菊池エリア

菊池温泉

約60年前に開湯した菊池温泉。「美肌の湯」「化粧の湯」といわれるほど肌さわりがよく、アルカリ性の泉質で、湯量も豊富で、適温で湧出する。宿泊施設も小規模から大規模まで営業している。日帰り温泉施設や足湯も人気となっている。（地図J）

菊池温泉（望月旅館）

菊池氏ゆかりの史跡を散策

菊池氏は、日本の氏族のひとつで、九州の肥後国菊池郡（熊本県菊池市）を本拠としていた。

菊池観光協会（菊池市隈府1273―1）では、案内人の会による菊池の街中散策を行っている。

コースは、①武光公像②菊池神社③高木邸④松倉邸⑤将軍木と能場⑥高木元右衛門銅像などを巡る。

予約は1カ月前から5日前まで。2人以上の申込みが必要。（地図J）

将軍木

将軍木は、後醍醐天皇の皇子、懐良親王のお手植えとされるムクノ木。能場は、菊池神社秋季大祭の際に、将軍木を親王と見立てて国指定無形民俗文化財の「松囃子御能」が奉納されるところ。

国内最大級の複合形式ダム　竜門ダム

竜門ダムは熊本県北部を流れる菊池川の支川迫間川上流に位置し、熊本県北部で唯一の水ガメとしての役割の他、台風や大雨が発生した場合に下流へ流す水の量を調節し、洪水を防ぐために2002年に完成。重力式ダムとロックフィルダムの複合形式の多目的ダム。

竜門ダム

周辺は遊歩道が整備されており、ダム内部の施設見学もできる。夏は涼しく、冬は暖かいダム内では、内部の大きさを体感できる合計約400段の階段を登り、ダム上部に向かうことができる。見学希望日の1週間前までの申し込みが必要。

また竜門ダム防災情報施設の1階では、竜門ダムに関する情報を展示。防災に関する情報、竜門ダムの模型や写真、自然コーナーやミュウシアターなどがある。開館時間は9時～16時30分。

休館日は12月29日～1月3日。

住所は菊池市龍門870。（地図K）

山鹿エリア

山鹿温泉「さくら湯」

さくら湯は寛永17年（1640年）の肥後細川藩の山鹿御茶屋にその歴史の端を発し、明治初期の「山鹿温泉大改築」以降、明治31年（1898年）の道後温泉の棟梁による大改修等を重ねながら、昭和48年（1973年）に惜しまれつつ取り壊されるまで、山鹿温泉の元湯として市民の生活の中にあった温泉施設。2012年11月23日に日本の伝統工法による九州最大級の木造温泉として再現、営業を開始した。

唐破風のある南北の玄関や十字にクロスした独特の屋根の形、貴賓客が使用した「龍の湯」などが特徴。新たに浴場内には、男湯、女湯ともに、くまモン像が設置され、くまモンと温泉が楽しめる施設としても人気を集める。

住所は山鹿市山鹿1―1。

休日は毎月第3水曜日。

利用可能時間は6時から24時。（地図E）

山鹿温泉さくら湯

八千代座見学&山鹿灯籠踊り定期公演

「八千代座」は明治43年（1910年）、町の旦那衆が設立した芝居小屋。木造2階建ての建物に枡席、桟敷席の客席や廻り舞台、スッポン、迫りなど江戸時代の歌舞伎劇場の造りを残しており、現在も坂東玉三郎さんをはじめ多くの役者が舞台を飾る。国指定重要文化財に指定された芝居小屋で山鹿のシンボル。

八千代座見学では、八千代座の案内人が舞台の裏側など八千代座の見どころを楽しく紹介する。

山鹿といえば、山鹿灯籠踊りが有名。八千代座では、国指定伝統的工芸品「山鹿灯籠」を頭に掲げた女性が優雅に踊る「山鹿灯籠踊り」の披露を行っている。

実施日時は、17年3月まで。開演11時、14時（1日2回）。（地図E）

八千代座で山鹿灯籠踊り公演

まち歩き観光のさきがけ　米米惣門ツアー

山鹿の中心部の豊前街道沿いには今も歴史ある商店が残っており、特に米にまつわるお店が集まっている。まち並みを楽しく観光できるのが「米米惣門ツアー」で、今年で15周年を迎える人気プログラム。酒蔵（千代の園酒造）、味噌蔵（木屋本店）、米せんべい屋などをめぐりながら、山鹿の文化や歴史を地元の商店主がユーモアたっぷりに紹介してくれる。

同ツアーの仕掛人である名物案内人の井口圭祐氏をはじめ、20代の案内人も誕生するなど独自の進化を続ける。英語でのパンフレットを配るなど外国人観光客にも対応する。（地図E）

鞠智城八角形鼓楼

歴史公園鞠智城

山鹿市菊鹿町米原を中心に菊池市堀切まで広がる広大な城跡。広さは、東京ドームの12倍。鞠智城跡は、大和朝廷が7世紀後半～9世紀初頭にかけて築いた古代山城。

米米惣門ツアー

熊本県立装飾古墳館

アートの要素を兼ね備える熊本県立装飾古墳館

装飾古墳とは古墳内部の石室や石棺にレリーフや彩色が施された古墳。熊本県内には数多くの古墳群が存在し、中でも装飾古墳は186基が見つかっており、全国の38％にも及ぶ。熊本県立装飾古墳館では、全国的に珍しい装飾古墳を細部にわたって再現したレプリカを展示。装飾古墳から出土した貴重な実物資料の展示やオリジナル映像などによって紹介する全国初の古墳専門博物館。

設計者は、世界的建築家の安藤忠雄氏。現存する古墳群のエリアに建てられた建物は、前方後円墳を模し、現代の古墳をイメージしている。単なる展示のためだけの建築としてではなく、古墳群と周辺の環境を一体として見せようとする環境博物館。建物から古墳群が一望できるように設計されている。

開館時間は9時30分～17時15分（入館は16時45分まで）。休館日は月曜日（祝日の場合はその翌日、年末年始）。

住所は山鹿市鹿央町岩原3085。（地図G）

チブサン古墳

国指定史跡　チブサン古墳

国指定史跡として全国的にも有名な装飾古墳。

壁画の正面に描かれている2つの同心円が乳房に見えることから〝チブサン〟と名付けられた。

前方後円墳で全長55ｍ以上、高さ7ｍ（築造当時）。築造年代は6世紀前半。

なお、日本で唯一の突堤付き円墳であるオブサン古墳が、チブサン古墳の史跡指定範囲に追加される形で、「チブサン・オブサン古墳」の名称で国史跡に指定された。

山鹿市立博物館では、チブサン古墳の案内を行っている。チブサン古墳の案内時間は10時と14時の2回（予約制）。休館日は月曜（祝日の場合は翌日）。

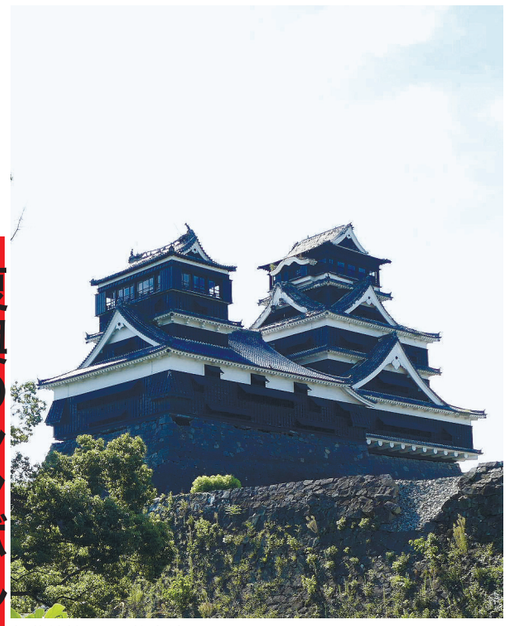
住所は山鹿市鍋田2085。（地図H）

栗川商店

熊本県伝統工芸認証品　肥後名産　渋うちわ製造本舗　栗川商店

来民うちわの始まりは、江戸時代慶長5年（1600年）頃、四国の丸亀の旅僧が一宿の謝礼にうちわの製法を伝授したとされ、肥後初代藩主細川忠利公の奨励により来民の地で盛んに作られるようになった。特徴としては青い未熟のがら柿（豆柿）から採った渋柿をうちわに塗ることにより和紙を丈夫にし、長持ちさせ防虫効果もある。熊本を代表する伝統工芸として季節を問わず縁起ものなどとして記念品、贈答品に広く利用されている。店内では、職人の作業風景も見学できる。また有名雑貨ブランドにもオリジナル商品が卸されている。

住所は山鹿市鹿本町来民1648。（地図I）


加藤神社からの熊本城

復興のシンボル　熊本城

復旧工事の熊本城を見学

日本三名城の一つ熊本城は地震の被害を受けたが、現在は復興のシンボルとして、復旧工事が進んでいる。復旧工事の様子を見学する観光客も多い。従来の観光客向けの鑑賞スポットではなく、地元の人が利用する2つの鑑賞スポットに人気が集まっている。

ひとつは加藤神社。熊本城本丸と宇土櫓の間に『錦山神社』として、御祭人神に加藤清正、陪神として殉死した大木兼能・金官を祀り建立された神社。境内から天守の様子がよく見え、記念撮影スポットにもなっている。熊本城二の丸広場や熊本城のふもとに位置する観光施設「桜の馬場城彩苑」からのガイドコースもある。住所は熊本市中央区本丸2―1。

もうひとつは、熊本市役所本庁舎14階展望ロビー。上空から、熊本城全体の状況が良く見えるスポット。

平日は8時30分～22時、閉庁日は10時～22時に利用できる。年末年始は休み。

住所は熊本市中央区手取本町1―1。（地図L）

熊本県県北広域本部
総務部　振興課
熊本県菊池市隈府1272―10
TEL：0968―25―4121
FAX：0968―25―0396
熊本県観光サイトなごみ紀行
http://kumanago.jp/